

校長室だより No.7

「コロナウィルス感染をみんなで防ごう」

2021年 8月 24日 柏市立土小学校 校長 梅津 健志

夏休みはいかがおすごでしょうか。夏休みに入ってから感染拡大の状況から、予定を変更されたご家族も多いことと思います。今は我慢の時ですね。

テレビのニュースや情報番組、インターネットの情報に、夏休み明けの学校における感染を不安に思う情報がたくさん流れています。私としましては、正解の無い判断に最善策をと考えております。

柏市内の状況は、7月1か月間に感染した児童生徒と教員は52人でした。8月に入り、15日までの感染確認は57人でした。ほぼ倍増していることがわかります。今週から二学期が始まる予定であった東京や神奈川の学校では、8月末まで夏やすみを延長した所が多いようですが、9月に入っても夏休みを延長する対応は考えにくいと思います。文部科学省は、一斉の休校等の措置は行わないとしておりますので、昨年度のようなことはありません。

子供たちの発達を第一に考えると、学校で友達と一緒に活動したり、学んだりする経験を通して、知恵が育ち、心が育ちます。子供たちの今は、今しかない、というほどに〇年生の段階に発達している9月は今年だけしかなく、来年同じことを経験しても受け取り方は全く違う、貴重な時間です。学校時代の1年間はかけがえのない、他に変えることができない1年だと、私は考えています。

大切な今を大事にするために、子供たちの感染を学校内で防ぐことができるのは、我々大人です。今、日本中の人々が感染予防を心がけているのに、それでもこんなに感染してしまうウィルスから、子供が全く感染しないという状況をつくることは、相当困難な状況です。しかし、学校内での感染を防ぐために、学校は全力で取り組んでまいります。以下の3点が重要だと考えますので、保護者の皆様にも御理解と御協力をお願いし、残りの夏休み期間を感染予防の準備期間と考え、子供たちの生活習慣を感染しにくい生活習慣にしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

- 1 本人、家族の間で、少しでも風邪症状（鼻水や咳等）がある場合は、欠席する。
- 2 感染防止に有効なマスクを着用するよう心掛ける。次ページの教育委員会からの資料を参考にしてください。マスクの材質による感染防止効果に違いがあります。
- 3 手洗い、うがい、消毒を徹底することと、友達に接近して会話をしないことを守る。

(参考資料)

感染症予防のためマスクを正しく着用しましょう

新型コロナウイルス感染症などの対策には、マスク着用はとても有効です。
しかし、あやまった着け方は効果的とは言えません。
マスクを正しく着用し、「密接」の場面での感染対策を万全にしましょう。



間違ったマスクの着け方をしていませんか？

- × 鼻が出ている→鼻からウイルスが侵入することがある
- × あごにかけておく→ずらしてかけたマスクを戻すと、マスクの内側に付着した飛散物が口元に着いてしまう
- × マスクのサイズがあっていない、ひもがゆるんでいる→顔とマスクの間にできたすきまからウイルスが侵入することがある

マスクの種類は多く、素材や形状によって性能も違いがあります。
それぞれの特長を正しく理解し、目的に合ったものを選びましょう。

マスクの効果について調べてみましょう

- 新型コロナウイルスに関する Q&A (一般の方向け)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

- 新型コロナウイルス感染症対策 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室

<https://corona.go.jp/>

- 感染リスクが高まる「5つの場面」特設サイト

<https://corona.go.jp/proposal/>

- 新型コロナウイルスの空気伝播に対するマスクの防御効果

https://corona.go.jp/proposal/pdf/kawaoka_20201201.pdf

※ただし、十分な身体的距離がとれる場合や、熱中症などが心配される場合は、マスクの着用は必要ありません。